

外部で経験を積んだOB・OGを再雇用！

金融機関で広がる「アルムナイ」採用

多くの企業で人材流出や人手不足が叫ばれる中、即戦力となる人材を獲得する制度として注目を集めているのが、

アルムナイ採用だ。本稿では、一般企業や金融機関で導入が進む、アルムナイ採用について解説する。

背景には、企業がアルムナイと新しい関係性を築くことで、様々な効果やメリットが生じる点にある。

例えば、アルムナイとの関係性を見直した企業では、離職者とのつながりを重視するようになる。企業のほうから、離職者に対して定期的に役立つ情報を発信したり、自社の離職者が定期的に集まれるようなコミュニティを作ったりといった動きに発展するケースもあるのだ。

なる。他にも、このつながりを通してアルムナイの転職先と自社との新規取引が獲得できたり、自社の社員とアルムナイが協業してプロジェクトを行ったりと、様々なシナジーを生み出す。

ある製薬会社から病院に転職したアルムナイは、日々多くの製薬会社の営業と話す機会があり、良い営業と悪い営業が分かるようになった。そこで元の製薬会社は、そのアルムナイを営業研修の講師として招くことで、社内外の事情に通じた見地からのアドバイスを得られたという。

「アルムナイってどんなもの？」 企業からの卒業生を意味する言葉で 人材確保や業務改革などにつながる

ア ルムナイ採用の「アルムナイ」は、卒業生や同窓生を表す言葉だが、ビジネスでは離職者や企業OB・OGを指す言葉としても使われる。

つまり、アルムナイ採用と

は、自社・自行庫を退職した社員を、もういちど採用するということだ。

アルムナイ人材は 将来の優秀な人的資源

アルムナイがいま注目され

また採用面でのメリットもある。ある広告代理店では採用ページにアルムナイのキャリアや、再雇用されたアルムナイへのインタビューなどを掲載。社風や入社するメリッ

トを求職者に伝えて、採用プランディングを図っている。企業のアルムナイ活用を支援する株式会社ハッカズークの鈴木仁志代表取締役は次のように話す。

「アルムナイを副業人材として受け入れたり、アルムナイの意見を参考に業務改革を行ったりしている企業もあります。採用やビジネス、人材開発といった幅広い分野で企業に貢献する可能性があるため、いままでも損失と捉えられてきた退職が、アルムナイとの関係を構築することで、むしろ新たな成長のきっかけになるわけです」

その中でも関心を集めるのが離職者の再雇用、つまりアルムナイ採用というわけだ。従来の離職者採用では再雇用する人材を産休や育休、配偶者の転勤といった理由で退職した社員に限定する制度が多い。背景には日本特有の終

身雇用を前提とした人事制度がある。転職や進学で退職した者は自社の採用や教育のコストを無駄にしたとみなし再雇用を認めない傾向がある。しかし、むしろアルムナイを積極的に受け入れることが企業の成長に資するという。「転職者人口は年々増加し、今後も人材の流動性はより高まっていくでしょう。その中で、転職や就学、留学などで離職した社員はアルムナイは、知的好奇心や向上心が強い傾向にあり、また社外で様々な経験や知見を得ている人材ともいえます。アルムナイ採用は、採用コストや教育期間を抑えつつ、社内外に通じた即戦力となる人材を再雇用できる採用制度なのです」(鈴木氏)

アルムナイ採用で人材の損失をなくす
企業のアルムナイへの関心

「アルムナイ採用は、アルムナイとの関係を退職で終わらせず、企業と個人との新しい関係を実現し、退職による損失のない社会を創ります。この先、アルムナイに注目した採用活動はより活発になってくるでしょう」(鈴木氏)

Official-Alumni.comの概要

オフィシャル・アルムナイ・ドットコムでできること

企業と退職者が繋がるきっかけができる
名簿機能により、メンバーのプロフィールが閲覧でき、新たな交流機会が生まれます。

退職者の「いま」を可視化できる
1クリックで、簡単にメンバーの近況を知ることができます。

企業がアルムナイに対して情報発信ができる
アルムナイや社員とスタンプメッセージのやり取りができます。SNSで気軽な情報交換が可能です。

◀ 次のページから金融機関の活用事例を紹介！